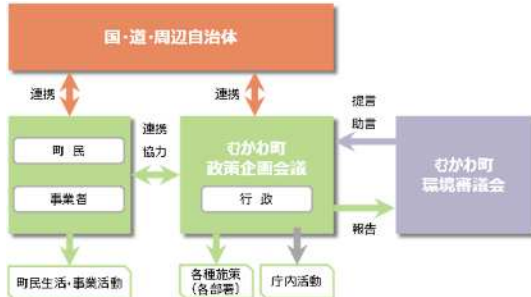


むかわ町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【概要版】

①計画の基本事項（1P～22P）

背景

- 世界的な動向として、脱炭素社会への移行が本格的に始まり、むかわ町では、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「むかわ町ゼロカーボンシティ宣言」を2022年（令和4年）9月21日に表明。
- ゼロカーボンシティの実現に向けて、町民、事業者及び町が地球温暖化対策を進める上での具体的な目標などを定め、温室効果ガスの削減につながる施策を展開することにより、地球温暖化防止、影響の緩和を推進すること目的に新たに本計画を策定。



期間

- 2013年（平成25年）度を基準年度とし、2030年（令和12年）度を目標年度と設定。
- 計画期間は、2023年（令和5年）度から2030年（令和12年）度までの8年間とし、必要に応じて中間年となる2026年（令和8年）度に見直し。

②再生可能エネルギー資源の賦存状況（23P～29P）

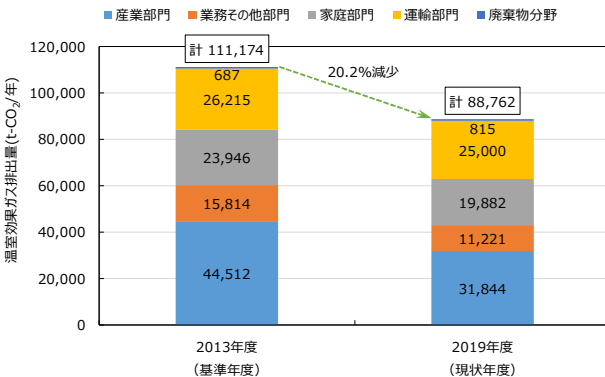
- むかわ町の再エネポテンシャル（電気）は陸上風力が最も多く、約516万MWh/年、次いで、土地系太陽光が約153万MWh/年。
- むかわ町の再エネポテンシャル（熱）は約51万GJ/年で、地中熱が約91%を占める。
- 再エネポテンシャルの大きさや、導入に要するまでの期間を踏まえて、太陽光や地中熱から優先して導入検討を行う。

大区分	中区分	賦存量	導入ポテンシャル	単位
太陽光	建物系	—	87	MW
	土地系	—	109,594	MWh/年
		—	1,223	MW
風力	陸上風力	—	1,531,799	MWh/年
		3,599	2,202	MW
中小水力	河川部	—	3	MW
		—	18,324	MWh/年
地熱	低温バイナリー	—	14	MW
		16	86,543	MWh/年
再生可能エネルギー（電気）合計		—	3,529	MW
		—	—	MWh/年
太陽熱	太陽熱	—	45,248	GJ/年
地中熱	地中熱	—	466,046	GJ/年
再生可能エネルギー（熱）合計		—	511,295	GJ/年

出典：再生可能エネルギー情報提供システム【REPOS（リーボス）】

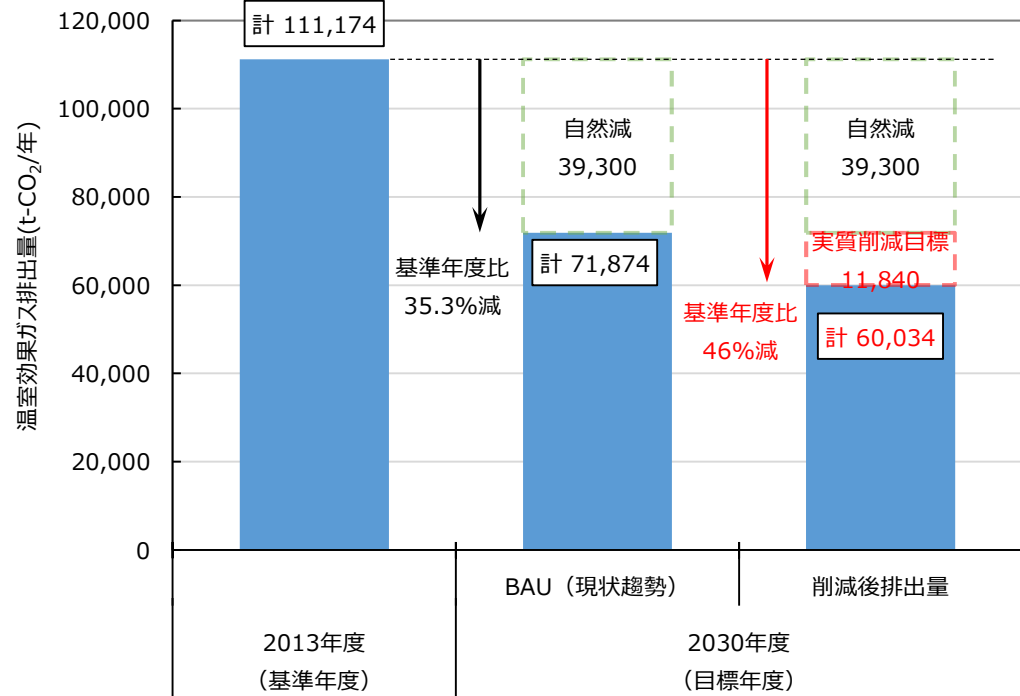
③温室効果ガスの排出状況（30P～32P）

- むかわ町における温室効果ガス排出量は、廃棄物分野において増加、産業部門、業務その他部門、家庭部門、運輸部門において減少。
- 2019年（令和元年）度の温室効果ガスの排出量は、2013年（平成25年）度と比較して20.2%減少。
- 2019年（令和元年）度において全体排出量に対する割合が最も大きい部門は、産業部門（主に農林水産業）、次いで運輸部門、家庭部門、業務その他部門、廃棄物分野。



④2030年度の総量削減目標（33P～36P）

- 環境省の「地球温暖化対策計画（令和3年10月22日閣議決定）」を踏まえ、目標年度（2030年（令和12年）度）における温室効果ガス排出量は、2013年（平成25年）度比で46%削減（51,140t-CO₂削減）を目標とする。
- ⑤に掲げる施策により目標達成を目指す。
- 現状趨勢では基準年度と比較して、自然減で35.3%減少することが見込まれるため、**実質的な削減目標は10.7%（11,840t-CO₂）の削減が目標となる。**



⑤2030年度目標達成に向けた施策（37P～44P）

産業系部門	再生可能エネルギーの導入 生産の効率化と環境保全型農業の推進 森林整備の推進と森林資源の活用 地域資源を活用した産業振興
民生部門（家庭・業務）	町民・事業者の省エネ・再エネ導入の促進 にぎわいある快適なコンパクトなまちづくりの推進 情報インフラの整備
運輸部門	地域の人材や自然環境を活用した交流の促進 公共交通の利用促進
廃棄物部門	自動車の脱炭素化 廃棄物削減とリサイクルの徹底 効率的な廃棄物処理